

こどもの意見聴取（若者ワークショップ 企画書）

目的

- ・「こども基本法 第11条」では、こども施策を策定する上で、対象となるこどもの意見を聴取し反映させることを求めています。
- ・また、こどもにとって、居場所が多い事は、その場所での人との関わり合いを通じて成功体験を重ね、自己肯定感を高め、社会性を学ぶ機会ともなることから、こどもの居場所を増やしていく施策は、こどもたちの将来の幸せに貢献するものと考えます。
- ・これらのことから、高校生以上の若者を対象として、居場所をテーマとしたワークショップを開催し、こどもたちにとっての居場所についての意見聴取を行うことで、市域の居場所づくりの施策の参考となる意見の収集を目的とします。

概要

- ・市報や案内状を通じて参加者を募集し、10代・20代の高校・大学生世代及び若者計30名程度の参加者を募ります。
- ・5～6名程度ずつのチームを編成しますが、個々が意見を言いやすくなるよう、世代や年齢その他状況を考慮して行います。
- ・「居場所としてイメージするもの」をテーマに、ベン図や付箋紙を用いて意見出しをしてもらい、各グループで出た意見のまとめ等を発表してもらいます。
- ・最後に、居場所を良くするためのアイデアなどを聴取するアンケートを実施します。

日時 令和6年7月20日（土）13:30～2時間程度

場所 小金井市役所第二庁舎8階 801 会議室

具体的な内容

1. ひとりずつ、自分にとって「居場所としてイメージするもの」を、ふせん紙に1つにつき1枚ずつ、理由とあわせて書いてもらいます。
2. テーブルには「ベン図の入った模造紙」があります。円が3つ重なり合っていて、それぞれの円に「人」「場所」「関係性」とそれぞれ「要素」が書いてあります。書いたふせん紙を、「要素」に合わせた場所に貼り付けます。
3. 「最もふせんの多かった場所」「感想」「発表したいこと」の3つを「各チーム発表」の時間にリーダーから発表してもらいます。

■スケジュール案（2時間）

- ①開会（10分）
- ②ガイダンス（20分）
- ③自己紹介・アイスブレイク（7分）
- ④リーダー・書記決め（3分）
- ⑤ワークショップ開始（50分+休憩10分）
- ⑥各チーム発表（15分）
- ⑦アンケート記入（5分）
- ⑧閉会

必要物及び経費

- ・ 椅子・テーブル：グループ、参加者、事務局用
- ・ プロジェクター・スクリーン・パソコン・マイク等：事務局説明用
- ・ ペン図を示した模造紙：チーム数+事務局用1枚
- ・ 付箋紙：1名30枚程度ずつ、予備含め1,000枚程度
- ・ 筆記用具：人数分
- ・ まとめシート：予備含め10枚程度
- ・ アンケート用紙：予備含め40枚程度
- ・ 飲み物、お菓子等

特記事項

- ・ テーブルのサイズは模造紙を広げられるサイズとする。